

第6回 阪神高速事業アドバイザー会議〔現場視察〕 議事概要

1. 実施概要

- 1) 開催日：平成30年4月4日（水） 14:00～17:30
- 2) 視察場所：西船場ジャンクション建設現場
- 3) 出席者：北前委員、近藤委員、斎藤座長、正司委員、関委員、矢野委員（50音順）
（※ 関委員は現場視察後の意見交換のみご出席）

2. 開催状況

平成31年度完成に向けて建設を進めている西船場ジャンクションをご視察頂きました。

- ・5月28日に増設車線の開放を予定している大阪港線拡幅部の建設状況
- ・環状線側の橋梁下部工事実施状況 等



《大阪港線拡幅部》
（高架部の右端が拡幅車線）



《大阪港線側高架下》

〔西船場ジャンクション建設現場 視察状況〕

また、現場視察後に意見交換を実施しました。

- 「議事(1)現場視察について」について、委員より以下のとおり意見が出された。
 - *四ツ橋筋上の鋼桁架設は、すばらしい技術で決められた時間内で収めた工事なのに、お客さんや市民が知らないのはもったいない。外部メディアに訴えかけて、小さいドキュメントとして流してもらえないか。
 - *その他、乗継制度に関する質疑応答等があった。

- 「議事(2)前回議事概要」について事務局より説明。

- 「議事(3)最近のトピックスについて」について、事務局より説明の後、委員から以下のとおり意見が出された。
 - *インバウンドが増加するなか、訪日外国人も車に乗る機会が増え、今後、外国人の事故が増えるのではと危惧される。
 - *路面の出口表示が外国人には分からない。例えば、EXIT と書くなど、外国人にも読みやすい仕組みが必要。
 - *ナンバリングはオールジャパンのルールがあると、地図を見なくてもアルファベットと数字があればアクセスできるという常識が定着して分かりやすくなる。
 - *ジャンクション名はうまくつけないとかえって混乱すると思われる。すべてに名前がいるのかも含めて考える必要がある。
 - *ジャンクション名をつけるのならば、標識のかけ方やあり方を工夫して分かりやすくする必要はある。
 - *渋滞対策やサービス向上の観点から、どの区間に乗継を設定するのはもう少し柔軟に考えるのがよい。
 - *料金の割高感があるので、収益があがれば、逆に上限料金を少し下げるなどすると満足度が一気にあがる可能性がある。
 - *料金に関するアンケートは、「多少高くても渋滞ない方がよいのか」等、もう少し工夫した質問をしてもよいのではないか。
 - *満足度調査では料金の満足度が低いのが、安全・安心な道路を保つための財源となっていることを伝えることも大切ではないか。
 - *「家族でドライブ」等の情報誌は、より多くの人にとれるよう有料の雑誌とすることも考えてはどうか。
 - *情報は消費者に知ってもらわないと意味がない。情報を届けて、市民・府民に選んでもらうようにする必要はある。
 - *その他、道路情報板の渋滞表示変更などに関する質疑応答があった。